

龍源寺報

孟蘭盆号

臨濟宗・妙心寺派	住職 松原 樹
佛母寺住職 松原 覺	正福寺住職 松原 行
TEL	3451-1853
FAX	3451-6094

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: info@ryugenji.com

URL: http://www.ryugenji.com

最近思うこと

先日お会いした方は、とても素晴らしい方だった。彼は、高校を卒業して、入社してから定年退職まで同じ会社で働き、まじめに、仕事を生きてきた。惜しまれながら、その会社を退職した彼の姿は、本当の自分自身に立ち返って、自分は結局これでよいのだと、自分自身で確信し、自分らしさの中にしっかりと足を据えて、全く動揺がなかった。他の人には、どう思われようとも、しっかりとした自分自身を築き、自分の道に精進してこそ、雲ひとつない、晴れ晴れとした、心境が開けると思う。彼は、今、念願であった畑仕事に専念している。

「これでよいのだ」と肯定できる、燃焼しきった、人生の中で、同様に、人は、寂しさや苦しみを知ると思う。そして、全ての人も、寂しさや苦しみを抱えていると知るであろう。そこで初めて、人は自分以外の者つまり、他者を許すことができるのではないだろうか。相田みつをさんの歌を紹介したい。

だれにだってあるんだよ／ひとにはいえな
いくるしみが／だれにだってあるんだよ／

ひとにはいえなかなしみか／ただ だま
っているだけなんだよ／いえばぐちになる
から。

生きていく上で重要なことは、自分が置かれた宿命的な状況を、どのように受け止め、また、どのようにそれに応え、挑戦して人生を切り開いていったか、ということだと思う。聖書は、「神は真実な方ですから、あなたがたを耐えられないほどの試験に会わせることはなさいませぬ。むしろ、耐えられるように、試験とともに脱出の道も備えてくださいます。」(コリント人への第一の手紙10章13節)とも教えてくれる。

人間の本质は、私の人生を、私の人生として生きて、自立的な意志と努力によって切り開くところにあると思う。大切なことは、それぞれの持ち場で、自分なりの仕方、自分でできることの限界に挑戦して道を切り開くことである。そこで、はじめて、自分が何者であるかが、見えてくるはずであり、そのありのままの自分を、そのまま引き受けることで、人は、安らぎを得られる。恨みや嫉妬は、人生において、何の稔りももたらさない。禅宗で行われる坐禅は、その自分自身を徹底的にみつめるのである。

観音堂寄付

金五万円也 藤井雅子殿

金一万円也 阿部祥子殿

金一万円也 沖野菜穂子殿

経蔵寄付

金三十万円也 松原まさ子殿

金二十万円也 高野昇殿

金五万円也 三浦規殿

金五万円也 天野富美子殿

金五万円也 匿名殿

金一万円也 武内隆幸殿

ありがとうございました

ウラボン法要

一、七月十日(水曜日)午前十一時から

一、法話

一、齋座

お車での来寺には、駐車場がありません。

龍源寺への交通の便(地下鉄)

- 都営三田線(目黒または三田、南北線は白金高輪駅下車。徒歩五分)
- 2番出口から地上に出ると案内看板に「龍源寺」名あり

龍源寺への交通の便(都バス)

- 田87 渋谷駅ー田町駅 魚ラン坂下下車
- 都06 渋谷駅ー新橋駅 古川橋下車
- 品97 品川駅ー新宿駅西口 魚ラン坂下・古川橋下車
- 反96 五反田駅ー品川駅ー六本木ヒルズ(循環)
魚ラン坂下・古川橋下車
- 東98 東京駅丸の内南口ー目黒駅 魚ラン坂下下車

境内整備と経蔵建立

昔からのお檀家様はご存じだと思いますが、しだれ桜が植えてあるところや観音堂も、もとは家が建っております。泰道・哲明の布教活動と総代の北村行夫弁護士さんのご尽力で三十年近くかけて境内が整備されました。住職の一代が、三十年と言われております。私の代でも、引き続き境内整備を継承し、境内の裏地に『大般若経』を納める経蔵を建立し、泰道・哲明の蔵書を収める建物を建てたいと思っております。皆様からの御寄付は、境内整備に使わせていただきます。

北軽井沢 日月庵坐禅堂 禅の会

北軽井沢、日月庵坐禅堂にて、二泊三日の禅の会（坐禅体験）を行います。北軽井沢は、標高千メートルの高原にあり、大変涼しいところです。

坐禅と法話を行い、「自己をみつめる」時間に行いたいと思っております。

（一泊目は自炊・二泊目は懇親会）

【日時】 八月二十三日（金）

（二十五日（日））

【場所】 群馬県長野原郡北軽井沢町

（JR軽井沢駅より、草津温泉行き、北軽井沢行きのバスに乗り、白樺の丘下車、徒歩五分）

【集合】 八月二十三日（土）十一時。日

月庵坐禅堂内、星雲苑研修所に現地集合。昼食は、持参にて入山願います。

【解散】 八月二十五日、十時頃。現地解散。

【会費】 三千円

【持ち物】 シーツとタオル2枚

龍源寺の定例会

禅の会（坐禅体験）

第一土曜日

- ・午前十時から正午まで
- ・午後一時半から三時半まで
- ・会費 二百円

佛像を彫る会

毎月第二・第四土曜日

- ・午前十時半から十二時半まで（初心者）
- ・午後一時半から四時まで
- ・会費二千円

柳 緑

うら盆会を迎えます。皆様お変わりありませんでしょうか。本誌も二百号になりました。

花 紅

年四回の発行ですから、単純に計算しても、発刊から五十年になります。歴史の重みを感じています。▼哲明和尚が遷化して、六月六日で三年の月日が経過致しました。お寺では、本堂にお位牌を出し、肖像画である頂相を、本堂の正面にかけてお経をあげさせていただきました。布教師の方々も、お参りにみえ、花園会館で勉強会などが行われました。▼十月八日から二泊三日で、東北地方巡礼の旅を企画致しました。今回は、被災地のお寺にお参りに行きたいと思えます。旅行社も宮城の会社にお願

いすることに致しました。JR仙台駅集合・JR郡山駅解散になります。部屋割りの都合上、二名、若しくは、偶数の人数でお申し込みください。▼五月の日月庵坐禅堂でのお手伝いに十数名の方々に来ていただきました。ありがとうございます。八月も北軽井沢で禅の会を開催します。二泊三日にして、一日目は、有

志だけによる会で自炊。二泊目は懇親会という形にしたいと思っております。八月二十三日〜八月二十五日です。どうぞ、ご参加ください。▼毎年、新盆のお檀家様と旧来からのお檀家には、お盆の棚経で、ご自宅の仏壇に、お経を読ませていただいておりますが、先代住職が亡くなり、従来通りお参りにうかがえなくなりました。棚経にうかがわせていただくお檀家様には、あらかじめ、はがきを送らせていただいております。又、棚経をご希望のお檀家様は、ご連絡お願い申し上げます。できるだけ、ご希望にお応えできるとしたいと思います。皆様には、七月十日のお施餓鬼法要にご参加いただきたいと思えます。お位牌拭きをし、庭を整備し調えられた本堂で行う龍源寺で一番大きな行事です。▼お檀家様で、お葬式をだされる場合、知っている葬儀社がない方は、葬儀社を紹介させていただきます。いざ、ご家族が亡くなると、なすべき事がたくさんありすぎて、慌ただしいのが現状です。仏事に慣れている僧侶の私でさえ、非常に慌ただしい体験を

しました。もし、お葬式をだされる場合、僧侶がいらないとお葬式ができないゆえに、まず、一番はじめに龍源寺にお電話を入れていただきたいと思います。龍源寺本堂もしくは、花園会館を使用してお葬式・家族葬・密葬も執り行うことができます。(本堂・花園会館使用の際は、指定業者となります。)又、生前のご相談もうけさせていただけます▼年忌法要を行う場合は、本堂が二階にあるため、ご高齢の方は階段の上り下りが大変です。一階の書院を使って法要を行うことが出来ます。広さと定例会の関係上、平日、日曜日に限り十五名まででお願いいたします。▼母は元氣にお寺のお仕事をしております。観音堂前の草花は、ほとんど母が植えております。今回の東北地方の巡礼を発願しました。弟二人も、がんばっているようです。▼七月十日のお施餓鬼に御齋のちらしずしを作ります。前日の午後から野菜の刻みをします。お手伝いに来ていただける方がいらっしやいましたらお願い申し上げます。▼お施餓鬼の日にお会いできるのを楽しみにしております。(信樹)